2021年12月17日

各位

機動建設工業株式会社
代表取締役社長　中野正明

親会社の株式移転に関するお知らせ

今般、当社の完全親会社である機動グローバルホールディングス株式会社（以下「KGH」という）の株主である中野正明（当社代表取締役社長）および上原範康（同取締役副社長）（以下両名を総称して「**旧株主**」という）と、エクシオグループ株式会社（証券コード 1951）（以下「**エクシオグループ**」という）は、本日付で株式譲渡契約書を締結し、旧株主が KGH の全株式をエクシオグループに譲渡することに合意いたしました。KGH は今月をもってエクシオグループの 100％子会社となる予定で、これに伴い、当社はエクシオグループの一員となる予定です。

エクシオグループは、1954 年に創業し、エンジニアリングソリューション事業（通信キャリア、都市インフラ）及びシステムソリューション事業を展開する東証一部上場企業であり、通信建設工事で培った技術・スキルを活用し、土木/電気工事をはじめとした都市インフラ事業からソフト開発を含めたシステムソリューション事業に至るまで多種多様なサービスを提供している企業グループです。(2021年3月期：連結売上高5,733億円、従業員数14,374名　https://www.exeo.co.jp/)

エクシオグループは社会課題の解決を普遍的使命と考え、多様なエンジニアリングを融合し、日本はもとよりグローバル社会から必要とされる企業グループであり続けることを目指して、「2030ビジョン」で掲げる「カーボンニュートラルな社会」の実現に向け、洋上風力発電や自営送電線等の再生可能エネルギー事業の拡大、防災・減災・国土強靭化の一環としての浸水対策における推進工事の分野などにも注力しております。推進工事およびPCタンクの分野において経験が豊富な当社においては、今後、そのシナジー効果が大いに期待できるものと考えております。

また、当社が社是としている「信用を重んじ、技術を磨き、社会に貢献する」と、「技術を培う」「豊かさを求める」「社会に貢献する」というエクシオグループの企業理念とは完全に一致し、エクシオグループのもとで更なる持続的な発展を目指していけるものと確信しております。

旧株主は、引き続き当社の事業運営を担う予定であり、これまでの当社の事業方針および業務運営体制に大きな変更はございません。また、当社はこれを機に一層の成長と事業

拡大を図り、今まで以上にお客様および関係者の皆様に対し、付加価値の高いサービスを提供できる会社を目指して参ります。

　これまでと変わらぬご愛顧を賜りますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

以上